

山口県の中小企業



コラボる会vol.3 開催風景



特集

平成23年度 中小企業関係予算案の概要

- 「いま、これを伝えたい!」
山口県板硝子商工協同組合
- 「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」
採択企業紹介
有限会社コスモデザイン
- 青年部・女性部コーナー
山口県パン工業協同組合青年部

- 組合等ニュース
- 景況動向
- BCPモデル策定事業説明会のご案内
- コラボる会vol.3を開催
- 「ちよるる募金」への協力をお願いします
- 決算・税務講習会のご案内
- 「2011年 組合トップセミナー」
開催のご案内

2011 Feb
Vol.634

2

組合活性化情報 毎月1日発行
平成23年2月1日

いま、これを伝えたい！

「住宅エコポイント」

1月から新制度スタート！

【設立の背景】

技術労働者の不足、加工コストの増加、過当競争の激化等様々な問題に対応するため、昭和44年12月に、県内の板硝子の販売施工業者67名が



結集して協同組合を設立した。設立以来、施工技術の向上等を中心に人材の育成に努めている。

【住宅エコポイント制度の促進】

本組合は、『全国板硝子商工協同組合連合会』（全硝連）の指導の下、「住宅エコポイント」制度の普及啓蒙に全力を挙げている。「住宅エコポイント」とは、エコ住宅の新築又はエコリフォームをした場合に、一定のポイントを発行し、これを使って様々な商品との交換や追加工事の費用に充当することができる制度。今年の1月より、新制度がスタートし、住宅設備の中の太陽熱利用システム・節水型トイレ・高断熱浴槽についてもポイントが発行されるようになった。この制度のポイント発行対象の中に、「窓の断熱改修」が明記され、これをビジネスチャンスととらえて、積極的な組合活動を行っている。また、この制度の理解を深めるため、教育情報提供事業の一環として、東京から、板硝子協会の講



事務局を置く(有)入江硝子店

師を招いて、制度の内容からエコポイントの申請手続きまで、お客様サービス向上を目指して研修会を開催している。対象となる工事の期間は、エコ住宅の新築の場合は、平成21年12月8日～平成23年12月31日に建築着工したもの。リフォームの場合は、平成22年1月1日～平成23年12月31日に工事着工したもの。ただし、どちらも平成22年1月28日以降に工事が完了したものに限り、この1年が勝負の年となる。

【次々と生まれる機能ガラス】

「防犯」というキーワードからも「窓」の機能について知識の習得に努めている。空き巣の侵入箇所は何と言っても「窓から」。防犯ガラス

への関心も高まっている。このように、「エコガラス」や「防犯ガラス」等社会的なニーズの多様化により、機能ガラスが次々と生まれている。いまやこのような機能を持ったガラスなしの生活など考えられない状況にある。

今後は、「住宅エコポイント」の継続や4月から始まる「窓の断熱性能表示」など、「窓」や「ガラス」のいろいろな機能をもつと消費者の皆さまに知ってもらえるチャンスの年となる。「機能ガラス」を積極的に提案して業界発展につなげていくことが組合に求められている。

山口県板硝子商工協同組合

【組合概要】

- 代表者：藤村 正一
- 組合住所：山口市小郡下郷791番地 6
- 業 種：板硝子販売施工業
- ☎ 083-972-5840 FAX 083-972-5461

【主な組合の活動】

教育情報提供事業、共同宣伝事業、調査・研究事業、市場開拓 等々

- ステップ1：経済危機対応・地域活性化予備費の活用
（9月24日閣議決定）
ステップ2：補正予算での対応（11月26日成立）
ステップ3：平成23年度予算の編成

	23年度 予算案	22年度 予算額	
政府全体※	1,969億円	1,911億円	政府全体で、22年度予備費560億円、22年度一次補正予算5,829億円を、前倒し実施のものを含めて措置。

※政府全体の中小企業対策費は、経済産業省のほか、財務省及び厚生労働省で計上。

以下、金額は平成23年度予算案。
（一）内は平成22年度当初予算額。

1. 生産性の向上
厚生労働省等関係省庁の施策とも連携しつつ、技術・人材・経営力の強化等の観点から中小企業の生産性向上を総合的に支援する。

(1) 中小企業の有する技術の維持・高度化
○戦略的技術支援事業のうち戦略的基盤技術高度化支援事業
150億円（150億円）
※右記のほか、平成22年度予備費により100億円を確保。
我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、「特定ものづくり基盤技術」の高度化に資する中小企業の研究開発から試作まで含む取組を支援する。

○中小企業等知的財産活用支援事業
「特許特会」18億円（新規）
中小企業に対して、アイデア段階から特許取得、事業展開に至る各段

階における知財の相談について一元的な窓口を全国に設け、知的財産活用・新規事業化を支援する。

○SBI R段階的競争選抜技術革新支援事業（NEDO交付金）
3億円（5億円）
SBI R（中小企業技術革新）制度に関して、技術課題設定型の補助金等について「段階的競争選抜」を行う方式を、各省の取組も徳通して本格導入することにより中小企業の参入機会の拡大を図ることとし、この取組を進めていく先鞭をつけるための研究開発事業を併せて行う。

(2) 中小企業で活躍する人材の確保・育成
○中小企業人材対策事業
※平成22年度予備費により110億円を、一次補正予算により5億円を確保。
（既存の資金（人材対策基金35億円）と併せて実施。）
地域の中小企業団体、学校、自治体等の支援ネットワークの下、就職未内定者に中小企業におけるインターンシップの機会を提供する事業（「新卒者就職応援プロジェクト」…22年度前半に実施した5千人に加えて、23年度にかけて1万人規模で実施中）等により、新規人材と採用意欲のある中小企業とのマッチングを

行う。また、即戦力となる人材を育成する「実践型研修」を実施する。

○中小企業魅力発信・採用力強化事業
3億円（新規）
※右記のほか、平成22年度一次補正予算により10億円を確保。
大学生等に対して中小・中堅・ベンチャー企業の魅力を発信するため、地域の経済界、大学等が協働して実施する、経営者等によるリレー講座の開設等の取組に対して支援する。また合同説明会の開催等により、雇用意欲のある中小・中堅・ベンチャー企業の若手人材の確保を支援する。さらに、既存のジョブカフェにおける、雇用意欲のある企業の人材確保に向けた取組の拡充等を行う。

○養成研修事業（中小企業大学校）
中小機構※交付金198億円の内数（203億円の内数）
※独立行政法人中小企業基盤整備機構
中小企業の経営者等に対して、経営管理や生産管理等の高度な経営課題の解決に対応した実践的な研修、IT経営や国際化等の中小企業の生産性の向上や販路拡大といった経営課題にも対応した研修等を実施。

(3) 中小企業の経営力の強化等
○中小企業支援ネットワーク強化事業
40億円（新規）
中小企業が抱える経営課題への支

平成23年度
中小企業関係予算案の概要

1. 中小企業対策費の予算
「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」（9月10日閣議決定）で決定された3ステップでの対応により、中小企業対策に必要な予算を措置。

以下、金額は平成23年度予算案。
（一）内は平成22年度当初予算額。

1. 生産性の向上
厚生労働省等関係省庁の施策とも連携しつつ、技術・人材・経営力の強化等の観点から中小企業の生産性向上を総合的に支援する。

(1) 中小企業の有する技術の維持・高度化
○戦略的技術支援事業のうち戦略的基盤技術高度化支援事業
150億円（150億円）
※右記のほか、平成22年度予備費により100億円を確保。
我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、「特定ものづくり基盤技術」の高度化に資する中小企業の研究開発から試作まで含む取組を支援する。

○中小企業等知的財産活用支援事業
「特許特会」18億円（新規）
中小企業に対して、アイデア段階から特許取得、事業展開に至る各段

階における知財の相談について一元的な窓口を全国に設け、知的財産活用・新規事業化を支援する。

○SBI R段階的競争選抜技術革新支援事業（NEDO交付金）
3億円（5億円）
SBI R（中小企業技術革新）制度に関して、技術課題設定型の補助金等について「段階的競争選抜」を行う方式を、各省の取組も徳通して本格導入することにより中小企業の参入機会の拡大を図ることとし、この取組を進めていく先鞭をつけるための研究開発事業を併せて行う。

(2) 中小企業で活躍する人材の確保・育成
○中小企業人材対策事業
※平成22年度予備費により110億円を、一次補正予算により5億円を確保。
（既存の資金（人材対策基金35億円）と併せて実施。）
地域の中小企業団体、学校、自治体等の支援ネットワークの下、就職未内定者に中小企業におけるインターンシップの機会を提供する事業（「新卒者就職応援プロジェクト」…22年度前半に実施した5千人に加えて、23年度にかけて1万人規模で実施中）等により、新規人材と採用意欲のある中小企業とのマッチングを

行う。また、即戦力となる人材を育成する「実践型研修」を実施する。

○中小企業魅力発信・採用力強化事業
3億円（新規）
※右記のほか、平成22年度一次補正予算により10億円を確保。
大学生等に対して中小・中堅・ベンチャー企業の魅力を発信するため、地域の経済界、大学等が協働して実施する、経営者等によるリレー講座の開設等の取組に対して支援する。また合同説明会の開催等により、雇用意欲のある中小・中堅・ベンチャー企業の若手人材の確保を支援する。さらに、既存のジョブカフェにおける、雇用意欲のある企業の人材確保に向けた取組の拡充等を行う。

○養成研修事業（中小企業大学校）
中小機構※交付金198億円の内数（203億円の内数）
※独立行政法人中小企業基盤整備機構
中小企業の経営者等に対して、経営管理や生産管理等の高度な経営課題の解決に対応した実践的な研修、IT経営や国際化等の中小企業の生産性の向上や販路拡大といった経営課題にも対応した研修等を実施。

(3) 中小企業の経営力の強化等
○中小企業支援ネットワーク強化事業
40億円（新規）
中小企業が抱える経営課題への支

援体制を強化するため、経済産業局が中心となって専門家を派遣すること等により、中小企業の経営相談に対応する各地域の支援機関の連携の強化、支援能力の向上を図る。

また、最低賃金の引き上げに向けた要請も踏まえ、厚生労働省の実施する支援事業（相談支援、業務改善支援）（23年度50億円）と連携を図る。

○中小企業総合経営支援事業

中小機構交付金198億円の内数
(203億円の内数)

中小機構が、中小企業が抱える経営課題等に対しての相談・助言等の総合的な支援を行うとともに、ハンズオンによる販路開拓支援や全国規模で実施する商談会を開催すること等により、中小企業の経営力の向上を図る。

○クラウド・コンピューティング等の

活用による中小企業のIT化促進

15億円の内数（新規）

中小企業のクラウド・コンピューティングの利活用を促進するため、IT経営に係る人材育成やIT事業者とのマッチング機会創出のためのコミュニティ構築等を行う。

○地域産品販路開拓機会提供支援事業

1億円（1億円）

中小企業に対して、大手流通事業者との契約締結と百貨店等における

商品の試験販売の機会を提供することにより、販路開拓ノウハウの蓄積を支援する。

2. 中小企業の海外展開支援

アジアを始めとする海外の新興国に対する、我が国中小企業の海外展開を支援するため、「中小企業海外展開支援会議」を立ち上げ、支援体制を整備。その中核となるJETRO及び中小機構等により、情報提供や人材育成支援に加えて、海外見本市への出展や商談の機会の拡大などを後押ししていく。

(1) JETRO・中小機構の連携支援

○中小企業海外展開等支援事業

〔特別枠〕 25億円（23億円）

※右記のほか、平成22年度予備費により4億円を、一次補正予算により13億円を確保。

「中小企業海外展開支援会議」（議長・大畠経済産業大臣）を22年10月に立ち上げ、農水省や関連機関と連携し、各地域で地方経済産業局を中心にきめ細かな支援を行う体制を整備済み。この支援体制の中核であるJETROと中小機構が連携して、中小企業の海外展開を一貫支援する。

(2) 海外販路開拓支援

○クール・ジャパン戦略推進事業

〔特別枠〕 12億円（新規）

※右記のほか、平成22年度一次補正予算により3億円を確保。

アニメ、ファッション、食、地域産品・伝統文化・匠の技術など海外で人気の高いクール・ジャパンの魅力と底力を産業化し、海外市場開拓及び海外顧客の訪日を促進するため、ターゲット国と分野を決め、「業種を超えたチームづくり」↓市場開拓↓成果の検証・他事業への応用↓実際の事業展開」という企業や若手人材の一貫した取組を支援する。

○JAPANブランド育成支援事業

〔補助金〕 6億円（7億円）

中小企業の新たな海外販路の開拓につなげるため、地域における複数の中小企業が協働し、自らの持つ素材や技術等の強みを踏まえた戦略の策定支援を行うとともに、それに基づいて行う商品の開発や海外市場開拓の取組に対する支援を実施する。

3. 経営の安定化

未だ厳しさの続く中小企業の経営安定に資するよう、公的金融による貸付の実施や、保証を通じた民間金融円滑化を図ることなどにより、資金繰り支援に万全を期す。

また、下請取引の適正化を図るため、「下請かけこみ寺」等を活用しつつ、下請代金支払遅延等防止法の厳格運用を図る。

(1) 資金繰り支援の万全の実施

○日本政策金融公庫の経営基盤の強化（補給金）

152億円（147億円）

中小企業に対する資金供給の円滑化を図るため、日本政策金融公庫の経営基盤を強化し、資金供給業務を円滑に行う環境等を整備する。

○信用保証協会の経営基盤の強化

81億円（81億円）

中小企業に対する資金供給の円滑化を図るため、信用保証協会の経営基盤を強化し、資金供給業務を円滑に行う環境等を整備する。

※右記2項目のほか、政府全体の資金繰り対策として平成22年度予備費330億円、平成22年度一次補正予算5、653億円を措置。

○小規模事業者経営改善資金融資

（国民部門） 財投2、300億円

36億円（36億円）

小規模事業者に対する資金繰り支援に万全を期すため、小規模事業者経営改善資金融資（マル経）の拡充措置（貸付限度額の1、000万円↓1、500万円への引上げ等）を平成24年3月31日まで延長する。

(2) 下請取引の適正化の推進

○中小企業取引適正化対策事業(「下請かけこみ寺」の整備)

6億円(7億円)

全国48箇所に設置した「下請かけこみ寺」において、中小企業からの取引に関する相談対応(無料弁護士相談を含む)や裁判外紛争解決手続(ADR)を行うとともに、下請ガイドラインの普及啓発等を実施する。

4. 起業・転業、グループ化(事業引継ぎ、連携、再生)の支援

農工商連携をはじめとする異業種の中小企業の連携による新規事業を支援するとともに、中小企業の起業・転業に必要な資金の融資・保証、中小機構のファンドの活用を促進する。
また、他社が有する価値ある経営資源(技術、取引関係、雇用等)を有機的に結合させ、中小企業の成長を促進するため、中小企業の事業引継ぎを円滑化するとともに、中小企業の再生を支援する。

○新事業活動促進支援補助金

31億円(43億円)

※右記のほか、平成22年度一次補正予算により20億円を確保。

地域の基幹産業である商工業と農林漁業の連携を支援する農工商等連携促進法や、異分野の中小企業の連

携を支援する新事業活動促進法に基づき、中小企業者が新商品・新サービスを開発・販売する取組を支援する。

○事業承継円滑化支援事業

中小機構交付金198億円の内数

(203億円の内数)

中小・零細企業の事業承継の円滑化に取り組む商工団体等をサポートする事業承継コーディネーターを、引き続き全国各地に配置するとともに、税理士等の中小・零細企業の事業承継を支える専門家向けの研修を行う。

○中小企業再生支援協議会事業

42億円(50億円)

企業再生の専門家が、再生を検討する中小企業の個別相談に応じるとともに、再生計画の策定などの支援を行う。

5. 商店街等の活性化

商店街が、「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮できるよう商業の活性化を図る取組を支援する。

○中小商業活力向上事業

20億円(32億円)

※右記のほか、平成22年度一次補正予算により20億円を確保。

商店街等が、地域コミュニティの

担い手として、少子高齢化等の社会課題に対応し、集客力向上・空き店舗減など効果のある商業活性化の取組を実施することを支援する。

○戦略的中心市街地商業等活性化支援事業

29億円(33億円)

中心市街地活性化法の認定を受けた基本計画に基づく商業活性化事業や中心市街地活性化協議会の設置・運営等を支援する。

6. 低炭素型社会への対応

低炭素型社会の実現に向けて、中小企業の省エネ対策等を支援する。

○エネルギー使用合理化事業者支援事業「エネルギー特会」

400億円(240億円)

エネルギー消費量の増加が続く業務部門を始めとする各部門における省エネ対策を支援するため、省エネ設備・機器等の導入を促進する。具体的には、「技術の先端性」、「省エネルギー効果」、「費用対効果」を踏まえ、政策的意義の高いものと認められる設備導入について補助を行う。対象は全業種であり、特に中小企業の取組に対する支援に重点。

○省エネルギー対策導入促進事業「エネルギー特会」

9億円(9億円)

省エネに関する技術と資金が十分

でない中堅・中小企業に対し、省エネ技術の導入可能性に関する診断事業等の実施や、エネルギー消費量を「見える化」する計測監視システムの導入支援を行う。

○「国内クレジット制度」による排出削減対策支援等

10億円(新規)

※右記のほか、平成22年度一次補正予算により3億円を確保。

国内クレジット制度の利用が期待される中小企業等を対象に、クレジットの創出に必要な手続面・費用面での支援を行うとともに、地域のネットワーク会議等を活用した制度周知・案件発掘を行うことで、地域の特性に応じた排出削減事業の積極的な展開を支援し、中小企業等の低炭素投資の促進を図る。

○中小企業を始めとした事業者の環境行動の「見える化」

5億円(6億円)

ライフサイクル・サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の算定・表示などを通じた「見える化」を促進するために、カーボンフットプリント制度試行事業にて中小企業者にも取組やすいようコンサルティングの派遣やデータベースの整備、ルールの構築等を図るとともに、ISOの国際標準化に向けて積極的に貢献する。

薬品管理システムの高度化・

インテリジェント化

有限会社コスモデザイン

今回は、「薬品管理システムの高度化・インテリジェント化」で採択された有限会社コスモデザインを紹介します。

同社は、平成12年5月に設立、身体に障害をもたれた方のためのオリジナル介護機器や医療補助機器等の開発・設計・製作を行っています。

医療現場において、薬品管理は煩雑な作業であり、そのため厳正さを欠いてしまい、薬品の不正使用や盗難が問題となっています。

平成20年に薬品管理業務をコンピュータにより自動化した「ドラッグバンク」を開発し販売したところ、多くの医療機関から、より高いセキュリティと、薬品庫内の温湿度等の制御についてニーズが寄せられたため、この度の試作に取り組みました。

医療機関のニーズを踏まえた「ドラッグバンク」は、類似の既製品より、低価格でパフォーマンス

スが高いため、規模の小さい診療所や調剤薬局においても導入が期待できます。



ドラッグバンク(小型)

お問い合わせ先

有限会社コスモデザイン

〒755-0195

宇部市あすとぴあ4丁目

2-15

☎ 0836-53-5605

FAX 0836-53-5606

Email cosmodes@ychi.ne.jp

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~cosmodes/>

青年部・女性部コーナー

“BLUE CRANE” a flight
クローズアップ
青年部!

山口県パン工業協同組合青年部

「県産材料を使った
学校給食パン」

「地産・地消で地域へ貢献」

Q. 山口県パン工業協同組合青年部について教えてください。

組合青年部は、平成2年9月に設立され、現在13名で活動しています。

主な活動として、経営者養成やパン業界についての研修、業界団体が主催する各種研修会・交流会への参加等を通じて、次世代を担う業界人の育成に取り組んでいます。

Q. 研修内容や成果を教えてください。



福本青年部会長

平成21年度にはパン業界専門紙である「ベーカリーズタイムス紙」の社長を招いて、最近のパン業界についての講演を実施し

養成学校の講師を招いて、経営者・管理者向けにリーダーの条件について講演を実施し、経営の一助としています。

Q. 読者にPRなどをお願いします。

県産小麦「ニシノカオリ」や県産米粉を使った学校給食用パンにより、地産・地消とあわせて米の消費拡大への取組みを進め、地域に貢献したいと思っています。



青年部概要

所在地 山陽小野田市鴨庄

☎ 0836-73-1043

青年部会長

代表取締役社長 福本 秀憲

部員数 13名

活動内容

研修会・情報収集及び提供、各種研修会・交流会への参加等

大内塗で初の 伝統工芸士誕生

大内塗漆器振興協同組合



山口市にある大内塗漆器振興協同組合の富田潤二理事長が、伝統的工芸産業振興協会が認定する伝統工芸士の試験に合格し、昨年12月24日(金)に吉報が届いた。「大内塗」では初めての伝統工芸士の誕生となった。昨年、「全国伝統的工芸品フェスタin萩」の11月開催に伴い、10月に伝統工芸士試験に挑戦し、見事栄冠を勝ち取った。

富田理事長は、「今回、伝統工芸士に認定され、責任が重くなったと痛感している。これからも、ますます大内塗を一般の方にも普及していきたい」と決意を語られた。

仮面ライダーが いっぱい!

天神町銀座商店街振興組合

防府市にある天神町銀座商店街振興組合(坂本恵二理事長)では、アーケード内にある「ほうふ昭和館」で2月末日まで「往年のオートバイ&ヒーロー展」を開催している。館内では、ヒーロー達が活躍した時代のオートバイ(実車)をはじめ、仮面ライダー等の人形が多数展示されている。昔懐かしいヒーロー達が出迎えてくれる展示は、親子で楽しめ、入場料も、100円(高校生以下無料)と格安。また、駄菓子やベイゴマなどの昔懐かしいおもちゃも販売されている。



リニューアル オープン!

企業組合小行司健康グループ



1月12日(水)、企業組合小行司健康グループ(河村久美子理事長)は、商品販売所・食堂を兼ねた店舗のテーブル・壁等を暖かみのある木材を用いて、リニューアルオープンした。併せて、里芋パン、みそまん、まめようかん等の新商品を販売。従来商品は、日替わり弁当、ちらし寿司、うどん、おかずセット等が用意されリーズナブルな価格で提供されている。河村理事長は、「気持ちよく来て頂けるお店にしました。是非一度足を運んで下さい」とPRされました。

テーピング等の 技術を学ぶ

山口県保険鍼灸マッサージ師会協同組合

山口県保険鍼灸マッサージ師会協同組合(重村周正理事長)では、1月16日(日)、宇部市シルバーふれあいセンターにおいて中央会の助成事業である組合研究集会を実施した。

組合研究集会では元東洋大学陸上部監督高岩氏を講師に「スポーツ障害について」をテーマにテーピング等の実習を交えた研修を行った。

講師の高岩氏はオリンピック等にも同行し、選手のケアを行った経験を重ねて、実践的なアドバイスをが行われるとともに、肉離れ、打撲等の場合のテーピングの方法等について実技指導がなされ、実り多い研修となった。

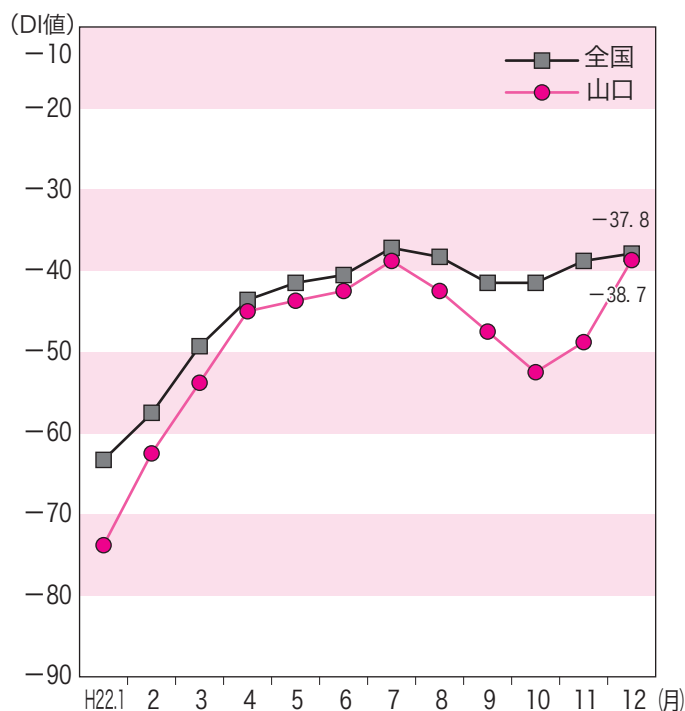


月次景況調査結果

平成22年12月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合
(表、グラフについては、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

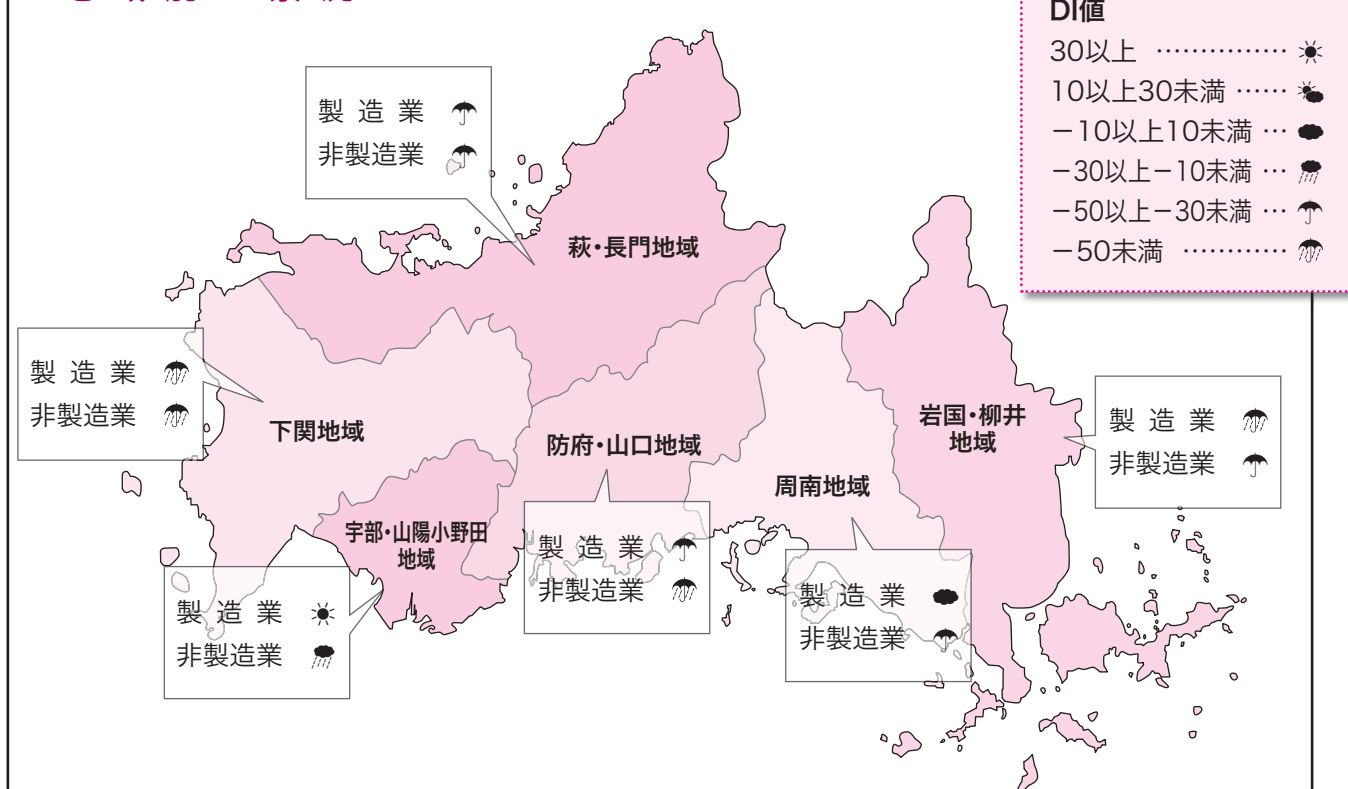
業界の景況の推移ー全国平均との比較ー



業種別の景況

	業 種	12月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	↗
	織 維 ・ 同 製 品	☂	↘
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↘
	鉄 鋼 ・ 金 属	☀	↗
	一 般 機 器	☂	→
	輸 送 機 器	☂	↗
非 製 造 業	卸 売 業	☂	→
	小 売 業	☂	↗
	商 店 街	☂	→
	サ ー ビ ス 業	☂	↗
	建 設 業	☂	↗
	運 輸 業	☂	→

地域別の景況



【情報連絡員報告】

地区・業種を代表とする県内組合の役員60名から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。また、中央会ホームページ(<http://www.axis.or.jp/>)の「月次景況調査」に掲載していますのでご活用下さい。



食料品製造業

○県内全域で、クリスマスケーキの売上げが前年より低下。

(パン・菓子製造業)

○12月も21日時点では昨年同時期を若干上回るトレンド。年末の売上は天候次第。
(食料品製造業)



繊維製品製造業

○依然として、円高の影響で為替差損が拡大し、経営を圧迫している。雇用状況は悪化。週休2日が定着し、賃金の低下が続いている。
(下着類製造業)



印刷業

○例年になく、夏以降の需要が弱かつ



窯業・土石製品製造業

た。出版業界の不況が長引く中、電子書籍の到来で、出版社、流通書店、印刷の協調マクロ的な流れは流動的。
(印刷業)

○県全体の実績については、ほぼ前年並みであるも、地域の好不調の違いが目立つ。
(生コンクリート製造業)



一般機械器具製造業

○親会社の受注残は3月決算まではかなりの量を確保しており多忙。しかし、来期4月以降の見通しは厳しくなるとの見解。
(宇部市)

○一部自動車関連設備の受注は改善傾向にあるものの、短納期であり、価格についても大変厳しい状況が継続している。
(柳井市)



輸送用機械器具製造業

○新造船は現状維持で更に今後厳しい船価になる予想。修繕船は円高の厳しい状況の中で受注隻数が少なくなる。
(船舶製造・修理業)



卸売業

○全般的に仕事量(需要、販売とも)が減少し、収益、資金繰りとも低調に推移している。現況は一昨年



小売業

程度で推移している。
(周南市)
○各業種とも売上減、利益減の苦しい状況が続いており、一般経費及び固定経費の削減に努めているのが現状である。
(下関市)

○12月はイベント日和、人出あり、賑わいあり。あとは本業のみ、歳末大売出し終盤にかける。
(周南市)

○12月に入り、気温の冷え込みが何度かあり、前年より売上がアップしている衣料品店舗もあるが、全体的には減少傾向が続いている。
(長門市)



商店街

○例年の歳末よりも賑わいなし。
(萩市)
○商店街の中に新たに2店舗オープンしたことにより、今まで見かけない顔が商店街でみられるようになった。
(山口市)



サービス業

○年末は、さすがに収益状況は好転。
(美容業)
○対前年同月比で、宿泊客数は7・3%の増加となったが、組合員を個別にみると営業方法の改善に努めた宿とそうでない宿で格差



建設業

が生じている。
(旅館業)
○少しずつではあるが成約してきている。しかし、価格については前年よりかなり下がってきている。
(情報処理サービス業)

○1月いっぱい仕事があるが、その先の見通しが立たない。
(鉄骨工事業)
○公共事業は依然として低調で推移しており、民間の住宅関連工事も、引き続き低調。
(土木工事業)
○オール電化申請は、やや減少している。
(電気工事業)



運輸業

○低迷する国内需要に輸送業界に明るさは見えず、前年対比稼働率12%弱の downward となっている。運賃は据え置きのまま燃料価格値上げが経営圧迫に拍車をかける。
油関係は1・8円の値上げ。
(下松市)

○ここ数カ月、前年同期比で15%、20%の売上高増となり、回復基調といえる。しかし、売上高に利益がついてきておらず決して楽観はできない。
(宇部市)

コラボる会を開催！

山口県中央会青年部は、1月25日(火)、山口市の「ホテルかめ福」において、「コラボる会vol.3」を開催した。オープニングセミナーでは、ブランドツールクリエイター 日本名刺協会理事 自己ブランディング大学講師の福田剛大氏を講師に招いて、「名刺だけで仕事を取る秘訣とは！」と題して名刺を活用した商談成立の秘訣について講演を行った。セミナー後は、コラボる会名物の「出会いの陣形“縁陣”」により参加者全員による名刺交換会が行われ大いに盛り上がった。(表紙写真)



お知らせ

「中小企業BCPモデル説明会」のご案内

BCP (Business Continuity Plan : 事業継続計画) とは？

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

対 象 業 種	開 催 日 時	開 催 場 所	定 員
製 造 業 (モデル:食料品製造業)	平成23年2月22日(火) 13:30～15:30	下関市竹崎町四丁目4番8号 「シーモールパレス」2F会議室 TEL 083-231-7000	20名
	平成23年3月15日(火) 13:30～15:30	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
建 設 業	平成23年2月23日(水) 14:00～16:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
	平成23年3月9日(水) 10:00～12:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
卸 ・ 小売業 (モデル:LPガス卸・小売業)	平成23年2月23日(水) 10:00～12:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
	平成23年3月16日(水) 14:00～16:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
運 輸 業 (モデル:貨物運送業)	平成23年3月11日(金) 13:30～15:30	山口市宝町2番84号 「山口県トラック研修会館」2F研修室 TEL 083-922-0978	
運 輸 業 (モデル:海 運 業)	平成23年3月9日(水) 14:00～16:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	
情報サービス業	平成23年3月8日(火) 13:30～15:30	周南市千代田町2-7 「東横イン徳山駅新幹線口」会議室 TEL 0834-32-1045	
	平成23年3月16日(水) 10:00～12:00	山口市小郡黄金町1-1 「山口グランドホテル」3Fヒスイ TEL 083-972-7777	

*当日は、対象業種の資料を使用して説明を行います。他の4業種の資料も用意しています。

【講 師】有限会社蘭田経営リスク研究所 代表取締役 蘭田恭久氏 (中小企業診断士・認定事業再生士)

【受講対象】組合・組合員企業の関係者等

【受講料】無 料

【お問い合わせ】山口県中小企業団体中央会 総務班 [山口市中央四丁目5番16号] (☎083-922-2606)

決算・税務講習会のご案内

組合役職員や組合経理担当者等が組合の決算手続きや税務申告書の作成等について学び、決算・税務知識の習得を図るため、講習会を開催します。

■日 時

平成23年 **2月25日**(金) **13:30～16:30**

■場 所

山口市秋穂二島1062

「**山口県セミナーパーク**」101研修室

■内 容

◆決算編・税務編 13:30～15:00

決算手続き・23年度組合関係税制の改正等について

◆税務申告編 15:10～16:30

申告書の基本的な作成について

◆講師 富田税理士事務所 所長 富田 哲也氏

■受講料

一人1,000円（当日、受付で申し受けます）

■持参用具

電卓、筆記用具をご持参ください。

お問い合わせ 山口県中小企業団体中央会 担当 洗川

「ちよるる募金」への協力をお願いします

本年開催の「おいでませ！山口国体」、「おいでませ！山口大会」の成功に向け、12月27日(月)、西村亘副知事と林孝介山口県商工会議所連合会会頭が、本会清弘会長に、「ちよるる募金」へのさらなる広報と協力の依頼がありました。本会会員の皆様方には、多大なご協力をいただきながら募金活動を行っていますが、引き続きよろしくお願い致します。



「2011年 組合トップセミナー」開催のご案内

県内中小企業連携組織のリーダー等を対象に、今後の経済見通しと中小企業の生き残り戦略について学んでいただくとともに、相互の交流を深めていただき、組織の活性化・発展を図ることを目的に標記セミナーを開催します。

2011年を展望する講演を企画しましたので奮ってご参加ください。

【日 時】 平成23年 **2月18日**(金) **15:30～18:30**

【場 所】 **西の雅 常盤**（山口市湯田温泉）

【内 容】 講 演（15:30～17:05）

「2011年展望 時代が変わる 戦略が変わる！」

株式会社ジャパンライフデザインシステムズ

代表取締役社長 谷口正和氏

交流会（17:10～18:30）

【参加費】 無料（但し、交流会参加者は5,000円）

申し込み方法など、詳しくは、<http://www.axis.or.jp/news/h221228-01.htm> をご覧ください。

【お問い合わせ】 山口県中小企業団体中央会（担当：山根）



谷口正和氏

今月のさわやかレター

2011
Feb
1



上関町建設業協同組合

玉林 洋子さん

昭和60年の組合設立より組合業務全般を担当しておられるベテラン。

好きなことは、編み物と広島市内へのショッピング。また、ガーデニングで季節の花をプランタンに植えること。

好きな言葉は、『ありがとう』で、ありがとうを気にかけて言うと、心が安らぐ。

事務局では、誰が来られても嫌な顔はしないように、また、少しでも、組合員の仕事量が増えるよう情報提供にも心がけているとのこと。

組合のPRをお願いしたところ「組合は、歴史があり、総会、理事会等の後の親睦は重要な情報交換の場、心ふれあう場となっています。」と笑顔で応えていただきました。

表紙写真

コラボる会vol.3開催風景

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://www.axis.or.jp/>



中小企業の情報発信 連携支援サイト <http://son19.com>

商稼村塾やまぐち連携交流プラザ



印刷製本 株式会社 桜プリント社